

令和 7 年 7 月 31 日

全国商業高等学校長協会  
都道府県連絡理事（校長）様

全国商業高等学校長協会  
公益財団法人全国商業高等学校協会  
理事長 小川孝  
(公印省略)

令和 7 年度 第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会の開催について（依頼）

令和 7 年度の全国高等学校生徒商業研究発表大会を別紙要項のとおり開催いたします。  
つきましては、下記のとおり関係書類を送付いたしますので、関係高等学校へご連絡くださいますようお願い申し上げます。関係書類は全商協会ホームページよりダウンロードができますのでご活用ください。

記

1 同封書類と提出方法・期限等

- |                                      |           |                    |               |
|--------------------------------------|-----------|--------------------|---------------|
| (1) 要項                               |           |                    | (別紙 1)        |
| (2) 審査基準                             |           |                    | (別紙 2)        |
| (3) 提出書類と参加料等について                    |           |                    | (別紙 3)        |
| (4) 参加申込書・参加料・昼食申込書                  | (メール)     | 提出期限：9 月 30 日 (火)  | (別紙 4)        |
| (5) 研修参加・昼食申込書                       | (メール)     | 提出期限：9 月 30 日 (火)  | (別紙 5)        |
| (6) 発表要旨について                         | (メール)     | 提出期限：9 月 30 日 (火)  | (別紙 6)        |
| (7) 発表時の入退場について                      |           |                    | (別紙 7)        |
| (8) 発表進行・配置表について                     |           |                    | (別紙 8-1・2)    |
| (9) 発表進行・配置表                         | (メール)     | 提出期限：10 月 10 日 (金) | (別紙 9)        |
| (10) 使用機材について                        |           |                    | (別紙 10-1・2・3) |
| (11) 使用機材申込書                         | (メール)     | 提出期限：10 月 10 日 (金) | (別紙 11)       |
| (12) 研究報告書について                       | (郵送・消印有効) | 提出期限：10 月 10 日 (金) | (別紙 12-1・2)   |
| (13) 参考資料：令和 2 年度以降の変更点について          |           |                    | (別紙 13)       |
| (14) 各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱いについて |           |                    | (別紙 14)       |
| (15) 郵便振替払込取扱票の記入方法                  |           | 振込期限：9 月 30 日 (火)  | (別紙 15)       |

2 書類ダウンロード

公益財団法人全国商業高等学校協会ホームページ → 書類ダウンロード → 発信文書 →  
令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会案内

3 その他

貴管下会員校が全国大会出場校に決定した場合、都道府県連絡理事校におかれましては、関係書類一式を出場校に送付してください（2 書類ダウンロードについて案内をする）

※詳細は、別紙 3「提出書類と参加料等について」をご覧ください。

【連絡先】

全国商業高等学校長協会  
公益財団法人全国商業高等学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町 26  
生徒商業研究発表大会係 担当 佐藤あけみ  
TEL 03(3357)7911 FAX 03(3341)1039  
メール tyousa@zensho.or.jp

## 令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会要項

### 1 目 的

商業を学ぶ生徒が商業に関する課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動のなかで、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てるとともに、その成果を発表する機会を通して、生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成する。さらには、本大会を通して以下の教育成果の実現を目指す。

- (1) 時代の進展に伴い変化していく経済活動に対応しうる資質を身に付けさせる。
- (2) 研究成果の発表により、相互研鑽に資する姿勢を身に付けさせる。
- (3) 大会に関する一連の行動を通じ、規律ある団体生活の態度を身に付けさせる。

### 2 期 間

令和 7 年 1 1 月 1 1 日 (火) ・ 1 2 日 (水) ※ 1 1 日 (火) はリハーサル・開会式を行う。

### 3 会 場

江戸川区総合文化センター

所在地 〒 1 3 2 - 0 0 2 1 東京都江戸川区中央 4 - 1 4 - 1

電 話 0 3 - 3 6 5 2 - 1 1 1 1

### 4 主 催

全国商業高等学校長協会 公益財団法人全国商業高等学校協会

### 5 後 援 (申請中)

文部科学省 東京都教育委員会 公益財団法人産業教育振興中央会 日本経済新聞社

### 6 参加資格

全国商業高等学校長協会の会員校に在籍する生徒であること。

### 7 参加校数および参加者数

- (1) 2 0 校

ブロック代表校数は原則 2 校とする。ただし、関東ブロックと九州ブロックはブロック代表校数を 3 校とする。  
また、1 校 1 チームまでとする。

- (2) 発表者数 (機械操作者等含む) は 1 校につき 1 0 名までとする。

### 8 研究テーマ

- (1) 地域の商業活動及び産業経済に関する調査研究
- (2) 商品の開発または広告・宣伝等に関する調査研究
- (3) 企業の経営に関する調査研究
- (4) 企業会計・事務・販売等に関する調査研究
- (5) 「課題研究」・「総合実践」に関する調査研究
- (6) 商業の教科・科目の内容についての調査研究

### 9 発表方法

- (1) 研究テーマによる研究報告書と舞台発表のみとし、作品展示及び商品販売はできない。
- (2) 舞台発表における資料提示画面は 1 画面とする。

### 10 発表時間

1 0 分以内とする。

### 11 審 査

審査基準 (別紙 2) に従い、審査する。

### 12 表 彰

最優秀賞 1 校 : 賞状・杯 (持ち回り) ・最優秀賞旗 (持ち回り) ・楯・メダル

文部科学大臣賞 (賞状・杯 (持ち回り))、産業教育振興中央会賞 (賞状・楯) をあわせて授与する。

優 秀 賞 3 校 : 賞状・楯・メダル

優 良 賞 5 校 : 賞状・楯・メダル

奨 励 賞 上記以外の参加校 : 賞状・楯

### 13 参 加 料

5, 0 0 0 円 + 1, 0 0 0 円 × 発表者数

### 14 参加申込期限

令和 7 年 9 月 3 0 日 (火)

## 15 提出書類および提出先

参加申込書や発表要旨、研究報告書等、各種書類の提出方法及び提出期限の詳細は、「提出書類と参加料等について」（別紙3）にてご確認ください。各種書類は、全商協会のホームページよりダウンロードしてください。

公益財団法人全国商業高等学校協会ホームページ → 書類ダウンロード → 発信文書 →  
令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会開催について

## 16 次 第（予定）

11月11日（火）	9:50	開場・受付	※受付順次
リハーサル	10:10 ～ 14:50	リハーサル	
開会式	15:00 ～ 15:30	引率者打合せ会議	
	15:45 ～ 16:30	開会式・諸連絡	
11月12日（水）	8:30	開場・受付	※出場校（発表者・引率者）受付省略
研究発表	9:10 ～ 12:05	研究発表	
閉会式	12:15 ～ 13:10	昼食	
	13:15 ～ 15:05	研究発表	
	15:15 ～ 15:55	休憩	
	16:00 ～ 16:40	閉会式・諸連絡	

※時程は変更が生じる場合がございます。ご了承ください。

## 17 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは「全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱について」（別紙14）をご参照ください）

## 18 その他

- （1）参加申込後の発表者の変更は認めません。
- （2）会場への入場は、事前に参加申込をいただいた発表者、引率者、研修参加者及び大会運営関係者以外のみとさせていただきます。参加申込のない方の入場はお断りいたしますので来場しないようお願いいたします。
- （3）出場校の受付は、混雑緩和のため11月11日（火）のリハーサル日のみ実施します。  
11月12日（水）は、前日受付時にお渡ししたリボンもしくは名札を付けてから会場へ入場してください。
- （4）研修参加者の受付は、出場校の受付と別に設けています。会場へは、受付時にお渡しするリボンもしくは名札を付けてから入場してください。
- （5）研修参加者は、発表者・引率者の座席エリア及び控室には立ち入らないようお願いいたします。
- （6）大会効率化および他校の発表を視聴してほしい等の理由により発声練習場所は設けておりません。
- （7）会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- （8）撮影をする場合は会場内の電源は使用できません。バッテリーをご用意ください。
- （9）引率の先生や参加生徒の旅費・宿泊費などは支給いたしません。
- （10）ゴミはすべてお持ち帰りお持ち帰りください。全商協会へお申込みいただいたお弁当ゴミは回収いたします。

## 令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会

## 審査基準

## 1 審査対象

- (1) 本大会の予選会として位置づけられた都道府県大会（都道府県大会を実施していない場合は、ブロック大会）における研究発表内容およびそれ以降の研究内容とする。
- (2) 過去の本大会（全国大会）において未発表のものとする。

## 2 審査観点

- (1) 研究報告書に記載されている研究内容を通して、生徒の問題解決能力や創造的研究の成果について審査する。
- (2) 研究成果の発表を通して、生徒のプレゼンテーション能力や「伝える力」について審査する。

## 3 審査配点および審査項目

総合得点を100点とし、各項目での得点および観点は以下の表のとおりとする。なお、「研究内容」および「研究報告書の完成度」については事前に審査を行い、当日の発表内容をふまえ必要に応じて得点を修正する。

研究内容	50点	10点	ア テーマ性および構成 (ア) 商業に関する研究として相応しいか (イ) 研究として論理的に構成されているか (仮説→企画→実践→検証→課題)
		20点	イ 研究の着眼点 (ア) 現状把握を前提として仮説の問題提起がなされているか (イ) 現状分析・仮説に基づき企画を検討しているか (ウ) 実践の検証が十分になされているか (エ) 検証に基づいた提言や展望、課題が打ち出されているか
		20点	ウ 研究の取組内容及び成果 (ア) 研究の取組に工夫がなされているか (アンケート・実施調査・取材活動・作品制作・実験など) (イ) 研究を通してどのような成果を学びとったか (研究の成功・失敗にかかわらず具体的な記載がある)
研究報告書の完成度	10点	※全商協会調査・広報部にて審査し、審査委員長が代表して得点化する ア 報告書内の文章表現や編集は適切であるか イ 資料提示に工夫がなされているか	
研究発表	30点	10点	ア 発表上の態度 (ア) 説明の状態（発表態度・進行など）は適切であるか (イ) 機器の取り扱い（操作・トラブル対応など）は適切であるか
		10点	イ 資料の提示 (ア) 研究内容を説明するのに適切な画面構成（分量含）であるか (イ) 研究内容を説明するのに適切な内容（提示方法含）であるか
		10点	ウ 資料の説明 (ア) 発表内容は聞き取りやすく、分かりやすいか (イ) 研究内容の説明としての説得力があるか
総合評価	10点	※研究報告書と研究発表の内容をふまえ、研究の完成度や独創的、創意工夫などを総合的に評価する ア 研究報告書（内容）に関する評価 イ 研究発表（説明）に対する評価	

#### 4 研究報告書

- (1) A 4 用紙 24 ページ以内とし、ページ数を超過した場合は、総合得点の合計から 10 点減点する。
- (2) 提出期限に遅れた場合は、総合得点の合計から 10 点減点する。提出期限後の修正・差替等も同様とする。

#### 5 発表時間

司会者による「発表を始めてください」の台詞終了時から発表者による「以上で発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。「以上で発表を終わります」の台詞以降は発声をしない。発表時間は 10 分以内とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点の合計から減点する。

超過時間	10 秒未満	10 秒～	20 秒～	30 秒～	60 秒～
減 点	－ 5 点	－ 10 点	－ 15 点	－ 20 点	－ 30 点

#### 6 順位決定方法

各審査委員による総合得点の合計の高い学校を上位とする。また、総合得点の合計が同点の場合は、審査項目「研究内容」「研究発表」「総合評価」の順に、各審査項目の得点の高い学校を上位とする。

なお、すべての審査項目の得点が同じ場合は、審査委員が協議し、審査委員長が順位を決定する。

#### 7 審査委員

全商協会調査・広報部長、副部長の 2 名および開催地より選出する委員 3 名（外部委員 2 名以上）を含む 5 名とする。

#### 8 表彰

種 類	校 数	備 考
最優秀賞	1 校	「文部科学大臣賞」「産業教育振興中央会賞」をあわせて授与。
優 秀 賞	3 校	
優 良 賞	5 校	
奨 励 賞	上記以外	

#### 9 その他

- (1) 研究報告書および発表におけるコンテンツ（画像・映像などの個々の情報）の使用に際しては、著作権に十分留意すること。

#### 改正履歴

平成 27 年度 一部変更（文言の整理）

平成 30 年度 一部変更（発表時間の計測について）

令和 2 年度 一部変更（研究報告書・順位決定方法の項目追加，発表時間変更，文言の整理等）

令和 3 年度 一部変更（表彰）

令和 5 年度 一部変更（文言の整理）

令和 6 年度 一部変更（研究報告書完成度の審査・得点化追記，計測終了後の発声制限）

# 令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 提出書類と参加料等について

## 1 提出書類

### (1) 申込関係書類 (提出期限：令和7年9月30日(火))

#### ① 大会参加申込 連絡理事校

貴管下会員校が出場校に決定した場合、関係書類一式を出場校に送付してください。  
(全商協会ホームページからの書類ダウンロードを案内する。)

- 出 場 校**    **ア** 本協会ホームページより書類「参加申込書・参加料・昼食申込書」(別紙4)をダウンロードしてください。  
※発表タイトル・サブタイトルに変更がある場合は、必ず10月3日(金)までに全商協会まで連絡してください。  
※外字を使用する場合は、代替文字を使用してください。その場合、備考欄にその旨を記入し、使用したい外字をはっきりと手書きで記入してください。  
※担当欄には「発表・PC・合図・照明」などの生徒の役割を記入してください。  
※進行の合図を知らせる生徒(合図係)を1名付けてください。
- イ** 必要事項を入力した(1)(2)を期日までに全商協会宛に電子メールで提出してください。 **※参加申込書提出後の発表者変更は認めません。**  
      ※メールの件名は「【都道府県名】令和7年度 生徒商研申込」と記載してください。  
          (1) 参加申込書・参加料・昼食申込書(別紙4)のExcelデータ  
          (2) 公印押印済みの「参加申込書・参加料・昼食申込書」をPDF化したデータ  
          ※PDF化できない場合はご郵送ください。

#### ② 研修参加申込

発表者・引率者以外の教員及び生徒が研修のため見学を希望する場合は、本協会ホームページより書類「研修参加申込書・昼食申込書」(別紙5)をダウンロードしてください。  
必要事項を入力した(1)(2)を期日までに全商協会宛に電子メールで提出してください。  
※外字を使用する場合は、代替文字を使用してください。その場合、備考欄にその旨を記入し、使用したい外字をはっきりと手書きで記入してください。  
(1) 研修参加申込書・昼食申込書(別紙5)のExcelデータ  
(2) 公印押印済みの「研修参加申込書・昼食申込書」をPDF化したデータ  
※PDF化できない場合はご郵送ください。

### (2) 発表要旨 (提出期限：令和7年9月30日(火) **メール必着**)

出場校は、発表要旨について、別紙6のとおり、電子データ(PDF)を全商協会へメールにて提出してください。

### (3) 発表関係書類 (提出期限：令和7年10月10日(金) **メール必着**)

出場校は、下記の書類について、全商協会へメールにて提出してください。

- ・発表進行・配置表 (別紙9)
- ・使用機材申込書 (別紙11)

### (4) 研究報告書 (提出期限：令和7年10月10日(金) **消印有効**)

出場校は、研究報告書について、別紙12-1のとおり、電子データ(PDF)を全商協会へ**郵送**にて提出してください。

### (5) 提出先

【郵送先】 〒160-0015 東京都新宿区大京町26 全商協会 生徒商業研究発表大会係 宛

【データ送信先】 [tyousa@zensho.or.jp](mailto:tyousa@zensho.or.jp)

【問い合わせ】 担当 佐藤あけみ TEL 03-3357-7911 FAX 03-3341-1039

2 参加料等について

(1) 参加料

5,000円+1,000円×発表者数

(2) 昼食（希望者事前申込制）

ご希望によりご用意いたします。希望する場合は、参加申込と併せてお申込みください。

11月11日（火） 1食につき 1,050円（消費税込み・お茶付き）

12日（水） 1食につき 1,050円（消費税込み・お茶付き）

※申込締切後の昼食の個数変更、及び、一度申し込まれた昼食代の返金はできませんので、申込の際には充分ご注意ください。

※出場校からの研修参加者が昼食を希望する場合、参加申込書・参加料・昼食申込書（別紙4）により、発表者・引率者分と併せてお申し込み、お支払いください。

※昼食をお申込みいただいた出場校以外の学校からの研修参加者には、後日請求書をメール等でお送りいたします。代金は、請求書記載の指定期日までに振込にてお支払いください。振込手数料はご負担ください。

(3) 参加料等の支払方法

ア 出場校は、全国大会への参加決定後、全商協会へ参加料等をお支払いください。

イ 振込手数料は、出場校でご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇一九店（ゼロイチキュー店）
預金種目	当座
口座番号	0047268
カナ氏名（受取人名）	ザイ）ゼンコクシヨウギヨウコウトウガツコウキヨウカイ

（注）金融機関ごとに振込依頼書に記入できる文字数が異なります。

お取引の金融機関へご確認ください。

ウ 振込依頼人名は、学校名がわかるよう〇〇高校としてください。

(4) 振込期限

令和7年9月30日（火）

(5) 参加料に関するQ&A

Q1 参加料を商業教育振興助成金から支出してもよいですか。
A. 助成金から参加料を支出することはできません。
Q2 全国大会に申込みをした生徒が欠席した場合、参加料は返金されますか。
A. 参加料は如何なる理由があっても返金はしません。
Q3 参加料はどのような経費に使用されますか。
A. 参加料は、大会運営に係る諸経費の一部に充当します。 （会場費・レンタル代・賞品代・参加記念品等）
Q4 請求書・領収書が必要な場合にはどのようにすればよいですか。
A. 郵便局の払込取扱票の控え（振替払込請求書兼受領証）を領収書として使用してください。 本協会理事長名の請求書・領収書もご用意しております。（インボイス対応） ※ダウンロードしてご利用ください。

令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会  
参加申込書・参加料申込書

(別紙4)

令和7年 月 日

ブロック	都道府県	連絡 理事校	学校名	校長名

出場校	学校名	校長名	公印	住所	〒		
	担当者	発表タイトル(ふりがな)		電話番号	FAX		
	担当者メールアドレス	サブタイトル(ふりがな)					

※発表タイトル・サブタイトルに変更がある場合は、必ず10月6日(月)までに全商協会(生徒商業研究発表大会係)に連絡してください。

引率者	No.	ふり氏	がな名	緊急連絡先(携帯)	メールアドレス
	1				
	2			※担当者メールアドレスと同じ場合は記入不要です。	
	3				

発表者	No.	ふり氏	がな名	学年	担当	No.	ふり氏	がな名	学年	担当
	1					6				
	2					7				
	3					8				
	4					9				
	5					10				
	備考									

※外字を使用する場合は、代替文字を入力してください、その場合、郵送する書類には備考欄にその旨を記入し、使用したい外字をはっきりと手書きで記入してください。

※担当欄には、「発表・PC・合図」等の役割を入力してください。準備完了を司会に合図する担当者(合図係)を必ず1名付けてください。

《参加料・昼食申込(希望者事前申込制)について》

参加料	5,000円 + 発表者数	名	×	1,000円
-----	---------------	---	---	--------

昼食 (お弁当お茶付) 消費税込	11/11(火)	1,050円	×		個	=	0円
	11/12(水)	1,050円	×		個	=	

振込合計額	0円
-------	----

※申込締切後の昼食の個数変更、及び、一度申し込まれた昼食代の返金はありません。申込の際には充分ご注意ください。  
※出場校からの研修参加者が昼食を希望する場合、当申込書により、発表者・引率者分と併せてお申し込み、お支払いください。

参加料等振込口座

銀行名	ゆうちょ銀行	支店名	〇一九店(ゼロイチキュー店)
預金種目	当座	口座番号	0047268
カナ氏名 (受取人)	ザイ)ゼンコクシヨウギヨウコウトウガツコウキヨウカイ		

※振込依頼人名は、学校名がわかるよう〇〇高校としてください。

※払込取扱票の支払手数料は全商協会に負担いたしますが、ゆうちょ銀行で現金払込をする場合にかかる現金取扱手数料、指定口座への振込手数料は出場校でご負担ください。

令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 研修参加申込書・昼食申込書（別紙5）

公益財団法人全国商業高等学校協会 御中

令和7年 月 日

提出期限 令和7年9月30日（火）

下記のとおり申し込みます。

ブロック	都道府県

申込 代表 者	学校名		校長名		印	住 所		〒	
	氏名		メールアドレス		電話番号		FAX		

教員、生徒ともに、11/21（火）（リハーサル・開会式）も見学する場合は、11/21欄で「○」を選択してください。

教員 研修参加者数				名	
No.	学 校 名	職 名	氏 名		11/21
1					
2					
3					
4					
5					

生徒 研修参加者数				名			
No.	学年	氏 名	11/21	No.	学年	氏 名	11/21
1				6			
2				7			
3				8			
4				9			
5				10			

《研修参加者 昼食申込（希望者事前申込制）について》

※出場校からの研修参加者が昼食を希望する場合は、当申込書ではなく別紙4により、発表者・引率者分と併せてお申し込み、お支払いください。

※昼食をお申込みいただいた出場校以外の学校からの研修参加者には、後日請求書をメール等でお送りいたします。

代金は、請求書記載の指定期日までに振込にてお支払いください。振込手数料はご負担ください。

昼食 （お弁当お茶付） 消費税込	11/11 （火）	1,050円 ×		個 =	0円
	11/12 （水）	1,050円 ×		個 =	

※申込締切後の昼食の個数変更、及び、一度申し込まれた昼食代の返金はありません。申込の際には充分ご注意ください。

令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会  
発表要旨について

提出期限 令和 7 年 9 月 3 0 日 (火)

※原稿を P D F にし、全商協会へメール (tyousa@zensho.or.jp) にて提出してください。

- ◇ 用 紙 A 4 判 4 枚
- ◇ マージン 上端 2 0 mm 下端 2 0 mm  
右端 2 0 mm 左端 2 0 mm  
※字数、行数の規制はありません。

1 枚目

↑  
20mm  
↓

(発表タイトル) ○○○○

(学校名) ○○○○ 高等学校  
(発表者) ○○○○ ○○○○  
○○○○ ○○○○  
○○○○ ○○○○

○○○○ . . . . . ○○○○○  
○○○○ . . . . . ○○○○○

←20mm→ ←20mm→

≈ ≈

○○○○ . . . . . ○○○○○

↑  
20mm  
↓

2 枚目以降

↑  
20mm  
↓

○○○○ . . . . . ○○○○○  
○○○○ . . . . . ○○○○○

←20mm→ ←20mm→

≈ ≈

○○○○ . . . . . ○○○○○

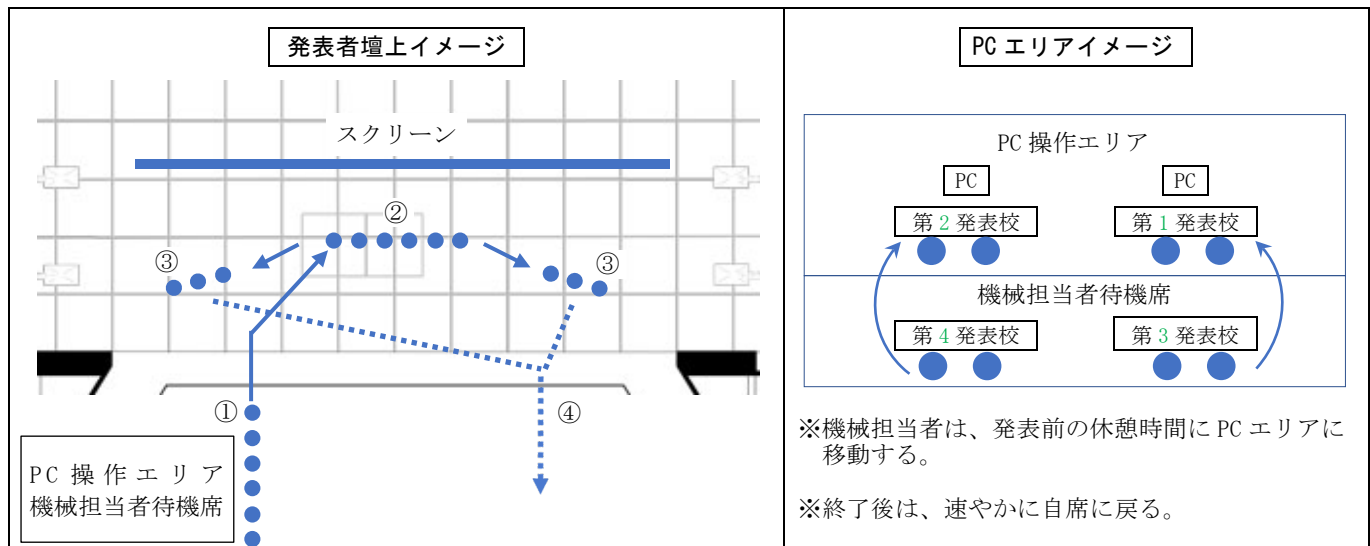
↑  
20mm  
↓

※発表タイトルは、別紙 4 「参加申込書・参加料・昼食申込書」で記入したタイトルと相違ないことをご確認ください。

# 令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会

## 発表時の入退場について

※会場設備の都合上、動線の見直しなど入退場方法等を変更する場合があります。変更時は、決定次第速やかに関係校にご連絡いたします。



	司会	発表者（舞台）	機械担当者（PC エリア）
1	休憩時間		・休憩後発表の 4 校の機械担当者は、PC エリアに移動する。 ※発表順 1～4 番の機械担当者は、9 時に PC エリアに移動する。
2	1 つ前発表中		・発表時の座席に移動する。
3	1 つ前発表終了後	・登壇指示 「発表番号▲▲番の学校は登壇してください。」とアナウンスする。	・発表時座席に着席したら、速やかに PC 準備（最初の画面を表示）をする。 ・司会の指示で、その場で客席に向かって起立する。
4	発表前挨拶（整列後） ・発表準備完了	（整列完了を確認する） ・学校紹介 「学校名と発表テーマ」をアナウンスし、「礼」の号令を掛ける。	・司会の指示で「礼」 ・準備完了の合図を舞台上の生徒に送る。
5	発表開始	・開始指示 （舞台上の合図係の挙手を確認後） 「発表を始めてください。」とアナウンスする。	・司会者からのアナウンス「発表を始めてください。」で発表を開始する。
6	発表終了	・発表終了時「以上で発表を終わります。」とアナウンスする。 （最終発表者はその場に待機する）	・「以上で発表を終わります」後、速やかに画面をブラックアウトさせる。 ・操作終了後、その場で客席に向かって起立する。
7	終了指示 ・退場	・終了指示 「ありがとうございました。ただいまの発表は○○高校でした」に続けて、「礼」の号令を掛ける。	・司会の指示で「礼」をする。 ・速やかに PC 等を片付け、自席に戻る。
8	発表時間報告	・発表者の降壇を確認後、 「ただいまの発表は○分○秒でした。次の発表までしばらくお待ちください」とアナウンスする。 ・次の登壇指示をする。	

## 令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 発表進行・配置表について

発表を円滑に進めるため、【別紙8－2 発表進行・配置表記入例】を参考に、発表進行・配置表を作成してください。  
別紙9「発表進行・配置表」に必要事項を記入し、全商協会へメール（tyousa@zensho.or.jp）にて提出してください。

### 1 体裁

A4版（別紙9参照）

### 2 提出期限

令和7年10月10日（金） ※期日厳守でメール（PDF）にてご提出をお願いします。

### 3 提出先

全商協会 生徒商業研究発表大会係

### 4 記入方法

- （1）【別紙8－2 発表進行・配置表記入例】を参考に、開始前の挨拶の配置、発表中の配置、終了後の挨拶の配置について、具体的に記入してください。
- （2）開始前挨拶の位置は決められております。登壇する人数がわかるように記入してください。
- （3）持ち込み機材がある場合は記入してください。
- （4）用紙が不足する場合は、複写をしてご使用ください。

### 5 留意点

- （1）プロジェクターは1画面となっております。生徒の立ち位置によっては、スクリーンに影が映り込む場合があります。リハーサル時に確認し、調整してください。
- （2）今大会では、舞台上の全体照明のみのライトアップで発表をしていただきます。部分照明並びに色付きの照明は使わないため、照明係は不要です。
- （3）準備完了を司会に合図する合図係（司会に近い舞台上の発表者）を必ず1名付けてください。
- （4）使用できるマイクの本数に限りがあります。別紙10－1「使用機材について」にてご確認ください。

発表進行・配置表記入例

◇凡例◇  
生…生徒（発表者・機械担当者等） 演…演台 司…司会台  
マ…マイク（ハンドマイク） ピ…ピンマイク プ…プロジェクター  
パ…パソコン 合…合図係：司会に合図を送る生徒

※今大会では、会場設置機材に司会台がございません。ご注意ください。

場面	舞台上（使用する機材を記入してください。）	備考
開始前挨拶	<p>スクリーン</p> <p>合 生 生 生 生 生 生 マ マ</p> <p>PC 操作エリア</p> <p>パ</p> <p>生 生 プ</p>	合図係の生徒を記入してください。 開始前挨拶の位置は決められているので、何名の生徒が登壇するのかわかるように記入してください。
発表中配置①	<p>スクリーン</p> <p>生 生 生 生 生 生 マ マ</p> <p>P PC 操作エリア</p> <p>パ</p> <p>生 生 プ</p>	発表中、舞台袖への移動があるかわかるように記入してください。
発表中配置②	<p>スクリーン</p> <p>生 生 マ マ</p> <p>PC 操作エリア</p> <p>パ</p> <p>生 生 プ</p>	演台を使用する場合は、上手側に配置してください。 発表スタイルに変更がなければ、発表中配置②は記入する必要はありません。
終了後挨拶	<p>スクリーン</p> <p>生 生 生 生 生 生 マ マ</p> <p>PC 操作エリア</p> <p>パ</p> <p>生 生 プ</p>	発表後の挨拶「礼」での立ち位置を記入してください。特に整列する必要はありません。

令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会  
発表進行・配置表

提出期限 令和7年10月10日(金)

出場校		枚目
発表タイトル		

場面	舞台上（使用する機材を記入してください。）	備考
開始前挨拶	<div>スクリーン</div> <div></div> <div>PC 操作エリア</div> <div></div> <div>プ</div>	
発表中配置①	<div>スクリーン</div> <div></div> <div>PC 操作エリア</div> <div></div> <div>プ</div>	
発表中配置②	<div>スクリーン</div> <div></div> <div>PC 操作エリア</div> <div></div> <div>プ</div>	
終了後挨拶	<div>スクリーン</div> <div></div> <div>PC 操作エリア</div> <div></div> <div>プ</div>	

# 令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会

## 使用機材について

会場に設置予定の視聴覚機材は、以下のとおりです。

進行を円滑にするため、会場に用意されている機材を使用していただきますようお願いします。

別紙 11 「使用機材申込書」に必要事項を記入し、全商協会へメール (tyousa@zensho.or.jp) にて提出してください。

会場設置機材	数 量	備 考
プロジェクター	1	会場にあるものを使用
ワイヤレスマイク (ハンド型)	4	会場にあるものを使用
ワイヤレスマイク (ピンマイク型)	2	会場にあるものを使用
演台	1	会場にあるものを使用

※ワイヤレスマイクは 6 本同時使用が可能です。

### □スクリーンについて

◇投影面 表示サイズ 315 インチ 幅 8.9m 高さ 4.05m アスペクト比 16:9

※スライド制作サイズとしてアスペクト比を指定していません。

※舞台レイアウト (立ち位置や照明) の調整で、映写面が狭くなることがあります。

ホール 1 層席客席 11 列目もしくは 24 列目の中央にプロジェクターを設置し、スクリーンに投影します。  
立ち位置によってはスクリーンに発表者の影が映りますので、リハーサル時のご確認をお願いします。  
(別紙 10 - 2 参照)

### □プロジェクターについて

◇機 種 PT-RZ120

◇輝 度 12,000 ルーメン

◇解像度 WUXGA (1920×1200)

※パソコンの出力は、HDMI でお願いします。

※映写台の設置位置により、プロジェクターの機種を変更する場合がございます。

変更が生じた場合、出場校には速やかにご連絡させていただきます。

### □パソコンについて

パソコンは、各出場校でお持ちください。

※パソコンとプロジェクターを接続する HDMI ケーブルの長さが 10m 以上となるため、Mac では正常に映らない可能性があります。

※予備用のパソコン (Windows10/PowerPoint2019 予定) を準備しています。

緊急時に対応できるよう、バックアップデータを USB で準備してきてください。

なお、iPad や Mac での予備対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

### □使用禁止機材について

- 1 プロンプターの使用を禁止します。
- 2 発表者が手でタブレットパソコンなど原稿代わりに使用することは可能とします。  
ただし、タブレットパソコンなどをプロジェクター等の遠隔操作のために使用することは、禁止します。
- 3 その他、機材のセッティングに時間がかかる、動作の確約ができずトラブルになるような機材の使用を禁止します。

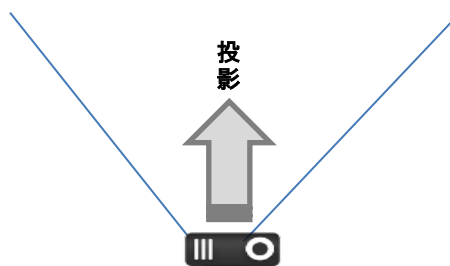
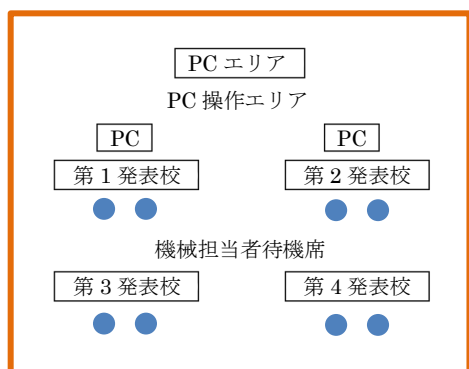
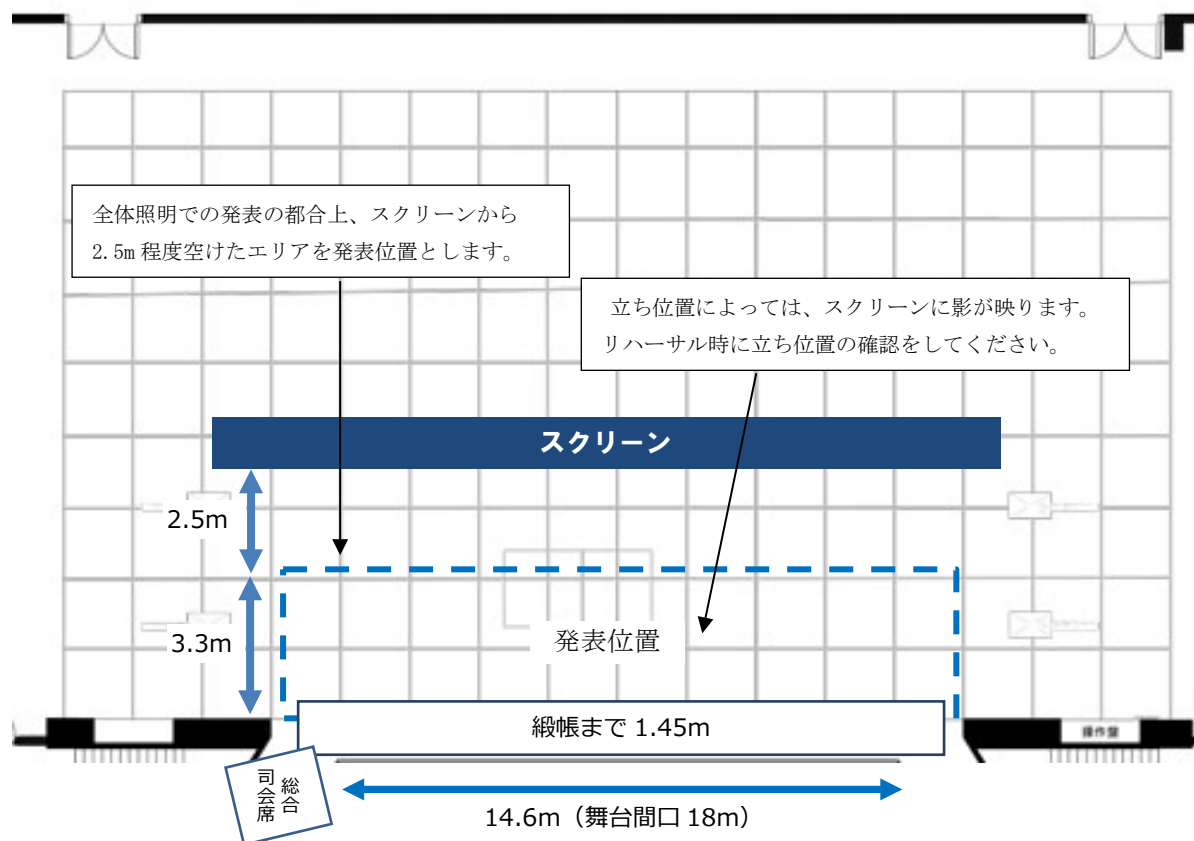
### □機材の操作について

操作は生徒だけで行うものといたします。画面の暗転等の機材トラブルの際も発表は最後まで続けてください。

### □その他

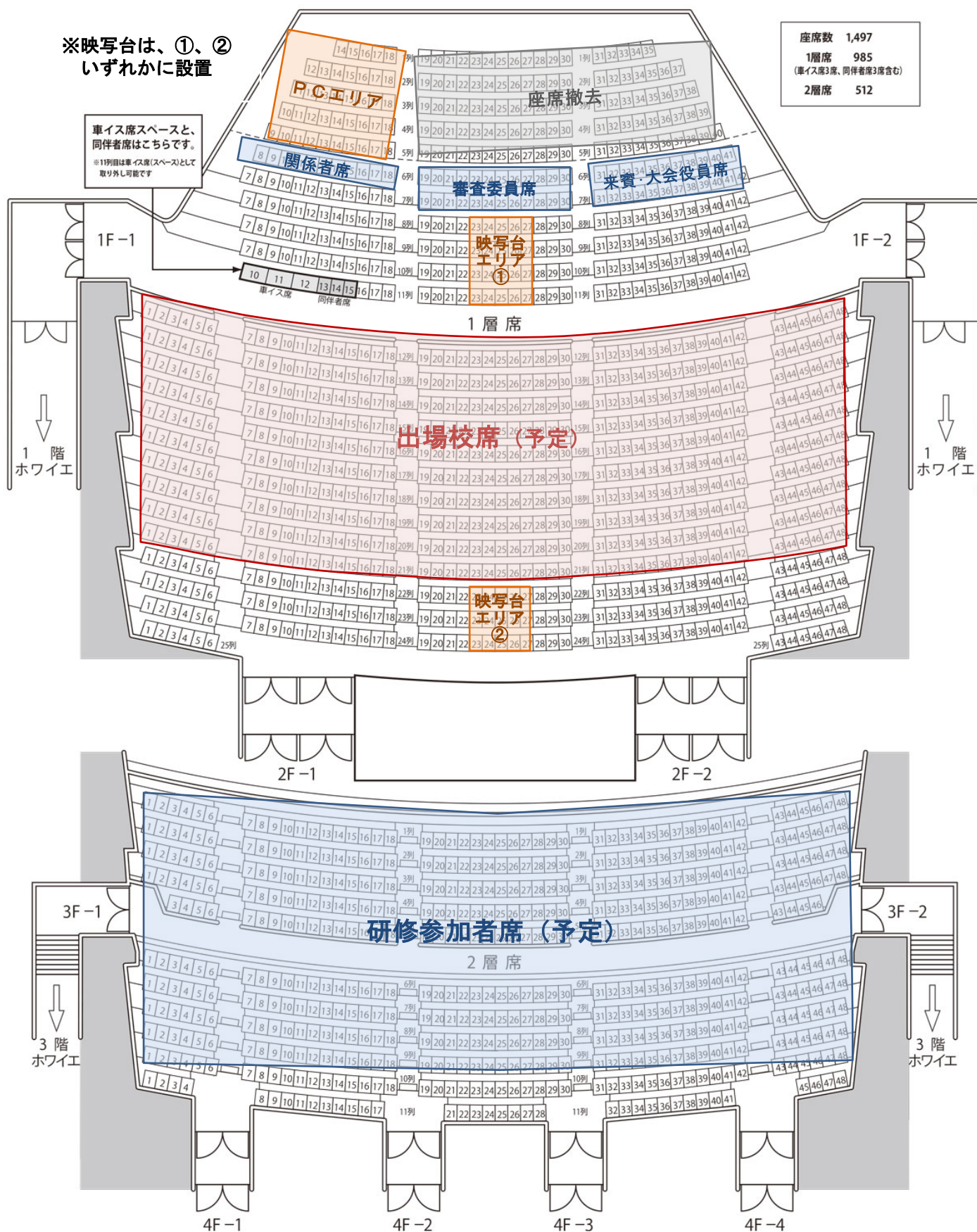
- 1 動画はプレゼンテーションソフトに埋め込むか、パソコンで再生するようにしてください。
- 2 著作権・著作隣接権にかかる音楽の使用を禁止していますのでご注意ください。

## 江戸川区総合文化センター 大ホール舞台平面図



大ホール客席11列目もしくは24列目に設置する映写台から投影

## 江戸川区総合文化センター 大ホール客席図



## 令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会

## 使用機材申込書

提出期限 令和 7 年 10 月 10 日 (金)

出 場 校	都道府県名	学 校 名	
	担当者教員 (ふりがな)	TEL	
		FAX	
	担当教員メールアドレス		

※使用する機材に○印を付けてください。複数使用する場合は、備考欄に数量を記入してください。

○印	機材名	備 考	○印	機材名	備 考
	プロジェクター			ワイヤレスマイク (ピンマイク型) ⑤⑥の 2 本	
	ワイヤレスマイク (ハンド型) ①～④の 4 本			演台 幅 180mm×奥行 75cm×高さ 98cm	

※上記以外 (持ち込み) で使用される機材がありましたら、ご記入ください。

パソコンについては、備考欄にメーカー・機種名・OS・使用ソフトをご記入ください。

機材名	数 量	備 考

※パソコンとプロジェクターを接続する HDMI ケーブルの長さが 10m 以上となり、Mac では正常に映らない可能性があるため、OS は Windows を推奨します。

# 令和 7 年度第 33 回全国高等学校生徒商業研究発表大会

## 研究報告書について

### 1 形 式 等

- (1) 表 紙 大会名、発表題（別紙 4、別紙 6、別紙 9 と統一タイトルであること）  
都道府県名、学校名、生徒氏名、指導者氏名を記載すること。
- (2) ページ数 表紙・裏表紙を含め A 4 用紙 24 ページ以内  
※ページ数の超過については減点対象とする。
- (3) 書 式 ① A 4 判縦型レポート形式を推奨する。  
② 文字数：1 ページ 40 行×40 字程度  
※図表は含まないものとする。  
③ 文字ポイント：10.5～12.0 ポイント（推奨）  
※見出し等は該当しない。  
④ マージン：上下左右余白 20mm（推奨）何も入れないことを推奨する。  
⑤ フッター：ページ番号を挿入
- (4) 提出方法 原稿を PDF にし、電子データ（CD-R、DVD、USB メモリ）を郵送で全商協会へ提出する。
- (5) そ の 他 ① 研究報告書の様式は、【別紙 12-2 報告書様式推奨例】を参照してください。  
② 審査対象となる部分とそうでない部分を、審査委員が明確に読み取れるよう章立てなどを工夫してください。なお、別紙 12-2 の『章立て例』は、推奨例のため強制ではありませんが、審査対象を明確にするため、継続的研究に関しては「これまでの流れ」（審査対象外研究の概説）という意味合いの項目を設けるか、資料集内にそれらを提示するようにしてください。  
③ 資料は、別紙 12-2 のとおり、「資料集」という体裁で本文終了後にまとめて提示するスタイルを推奨します。なお、資料集も全体ページ数に含めて作成してください。  
④ 報告書全体を読みやすいものにする工夫や、内容を簡潔明瞭にまとめ上げる力も審査に反映します。具体的には、審査基準の「3 審査配点および審査項目」→「研究内容」および「研究報告書の完成度」の項目で評価します。ただし、二次元バーコード等に含まれる情報は評価の対象といたしません。  
⑤ 研究報告書以外の資料は受け付けられませんので、添付しないでください。  
⑥ 提出された研究報告書は、全商協会ホームページ（10 月 17 日～12 月 11 日）に掲載します。大会当日参加校へ印刷した研究報告書は配りません。各校で印刷してください。

### 2 提出期限

令和 7 年 10 月 10 日（金）当日消印有効

※提出期限以降の提出（期限後の修正・変更・差替含む）は減点対象とする。

### 3 提 出 先

〒160-0015 東京都新宿区大京町 26

公益財団法人全国商業高等学校協会

生徒商業研究発表大会担当 佐藤あけみ

電 話 03(3357)7911 F A X 03(3341)1039

## 報告書様式推奨例

【表紙例】

(大会名)

タイトル

副タイトル

都道府県名・学校名  
生徒氏名  
指導者氏名

【章立て例】

目 次

1 はじめに  
(テーマ設定理由)

2 これまでの流れ  
(審査対象外研究の概説)  
※継続研究した場合のみ

3 【以下本文】

}

n おわりに

～資料集～  
(1) ○○○  
(2) ◇◇◇

例) ○学校紹介 ○各種バックデータ ○アンケート様式 etc

余白は上下左右 20mm

※ヘッダー：何もいれないことを推奨

1 ページ 40 行程度

1 行 40 字程度

※フォントサイズは、  
10.5～12.0 程度

※フッター：ページ番号を挿入

## 参考資料：令和2年度以降の変更点について

## I 変更内容について

## 1 令和2年度以降の変更点 …令和元年度春季全国役員会・総会・研究協議会資料（令和元年5月）

## (1) 開会式の日程について

変更前	開会式を2日目に実施	1日目	リハーサル、参加者交流会
		2日目	開会式、発表、閉会式、表彰
変更後	開会式を1日目に実施	1日目	リハーサル、 <u>開会式</u>
		2日目	発表、閉会式、表彰
変更理由	1日開催、時間短縮に向けた対応策。		

## (2) 「研究報告書」の提出期限以降の提出について

変更前	期限遅れの資料の提出は減点なし
変更後	<u>期限以降の提出（遅れ）は総合得点の合計から一律10点減点。</u> 期限後の、修正・変更・差し替えなども遅れと同様とし、減点の対象とする。
変更理由	規定違反による提出期限遅れの学校には、審査の過程で差をつける必要があるため。

## (3) 「研究報告書」のページ数について

変更前	ページ数30ページ以内
変更後	<u>ページ数24ページ以内。</u> A4縦型レポート形式を推奨とする。
変更理由	巻頭の学校紹介や巻末の資料などについて、上限の30ページに無理に合わせるため、無駄なページを増やしている学校が見受けられる。 参加校の資料作成および審査にかかる負担を軽減するため。 冊子形式で資料を作成しても、PDFデータで閲覧した場合、片面ページずつしか見ることができないため。

## (4) 「研究報告書」のページ数の超過について

変更前	ページ数超過の減点なし。
変更後	<u>ページ数超過は総合得点の合計から一律10点減点。</u>
変更理由	規定違反によるページ数超過の学校には、審査の過程で差をつける必要があるため。

## (5) 発表時間について

変更前	発表時間 12分
変更後	発表時間 <u>10分</u>
変更理由	1日開催、時間短縮に向けた対応策。

## (6) 発表時間計測終了後の流れについて

変更前	「以上で、発表を終わります。」（計測終了） この後に、登壇者がいる、入場や整列をする、エンドロールなどの上映や時間をかける学校があり統一されていない。
変更後	「以上で、発表を終わります。」（計測終了）（ <u>舞台上にいる者のみ礼、退場</u> ） 「以上で、発表を終わります。」の後の <u>禁止事項</u> ・舞台への登壇、挨拶のための入場・整列 ・エンドロールの上映 計測終了後、発表校または運営側で映像を止める。
変更理由	計測終了後、各校による差をなくし運営時間を効率化するため。 審査における時間の確保のため。

(7) 音楽の使用について

変 更 前	音楽の使用について 【著 作 権】発表校→著作権者への使用申請 【著作隣接権】発表校→全商協会→JASRAC（書類提出及び使用料支払い）
変 更 後	音楽使用を禁止する。
変更理由	純粋な研究発表とするため。 大会後、全商のホームページ等で映像を二次的に使用するため。

※映像の二次利用のため、また、純粋な研究発表となるよう著作権・著作隣接権にかかる音楽の使用（BGM等）の禁止を意図しています。生徒の自作の音楽を用いた研究など研究テーマの範囲で音楽を研究したい場合は、利用許諾を取る必要がなく、また、映像の二次利用にも影響がなければ、例外として音楽の使用を認めることといたします。【令和3年7月追記】

(8) 審査基準「順位決定方法」の追加について

変 更 前	現行の審査基準に明記なし
変 更 後	現行の審査基準について、下記の「順位決定方法」を追加する。 順位決定方法 各審査委員による総合得点の合計の高い学校を上位とする。また、総合得点の合計が同点の場合は、審査項目の「研究内容」→「研究発表」→「総合評価」の順に、各審査項目の得点の高い学校を上位とする。なお、全ての審査項目の得点と同じ場合は、審査委員が協議し審査委員長が順位を決定する。
変更理由	審査基準を明文化し、明確にするため。

(9) 機材の使用制限の追加について

変 更 前	現行の開催要項に明記なし
変 更 後	現行の開催要項「使用機材」に、下記機材の使用制限を追加する。 1 プロンプターの使用は禁止する。 2 発表者が、手元でタブレットパソコンなどを原稿代わりに使用することは可能とする。 ただし、タブレットパソコンをプロジェクター等の遠隔操作のために使用することは、禁止する。
変更理由	・機材のセッティングに時間がかかり、運営時間効率化の妨げとなることがあるため。 ・動作保証が確約できないことやトラブル防止のため。

- 2 令和3年度以降の変更点 …令和2年度春季全国役員会・総会資料（令和2年5月書面開催）  
…令和2年度ブロック代表常務理事連絡協議会資料（令和2年11月書面開催）  
「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」（答申）の検討状況（令和2年11月14日）内に記載

(1) 出場校数について

変 更 前	全国10ブロック・出場校数21校 ブロック代表校数を2校とし、開催都道府県については、別に1校を加える。
変 更 後	1 首都圏開催に伴い開催都道府県からの出場校1校を廃止し、出場校数20校とする。 ただし、令和4年度島根大会、令和6年度釧路大会については、移行措置として開催道県からの出場校1校を別に加え、出場校数21校とする。 2 全国商業高等学校長協会のブロック構成変更に伴い、全国9ブロックとする（関東ブロックと京神ブロックを統合し、関東ブロックとする）。ただし、令和3年度大会において、新関東ブロックによる対応が困難な場合は、移行措置として、旧ブロックによる現行どおりの対応を認める（その場合、令和3年度出場校数は21校とする）。 3 ブロック代表校数は原則2校とする。ただし、関東ブロック及び九州ブロックは、ブロック代表校数を3校とする（令和3年度大会において、関東ブロックの移行措置を適用した場合、旧関東ブロック及び旧京神ブロックの代表校数はそれぞれ2校とする）。
変更理由	・本大会の特性も考慮しつつ、全商協会主催の他の競技大会等と社会的な評価の観点から統一を図るにあたり、出場枠の見直しを行ったため。 ・会員校数に対する出場校数割合の格差の是正のため。

(2) 表彰について

変 更 前	最優秀賞 1校 優 秀 賞 3校程度（審査委員の選考により、校数は年度によって増減があってもよい。） 優 良 賞 最優秀賞及び優秀賞以外の学校
変 更 後	最優秀賞 1校 優 秀 賞 3校 優 良 賞 5校 奨 励 賞 上記以外の学校
変更理由	本大会の特性も考慮しつつ、全商協会主催の他の競技大会等と社会的な評価の観点から統一を図るにあたり、表彰の見直しを行ったため。

(3) 発表者数について

変 更 前	発表者数に制限はない。
変 更 後	発表者数は10名までとする。
変更理由	本大会の特性も考慮しつつ、全商協会主催の他の競技大会等と社会的な評価の観点から統一を図るにあたり、発表者数の見直しを行ったため。

### 3 令和4年度以降の変更点

(1) 「発表要旨」の書式について

変 更 前	マージン 上端 25mm 下端 25mm 右端 25mm 左端 25mm
変 更 後	マージン 上端 20mm 下端 20mm 右端 20mm 左端 20mm
変更理由	研究報告書推奨マージンを上下左右余白 25mm から 20mm に変更したため、合わせて変更。

(2) 「研究報告書」の書式について

変 更 前	④マージン：上下左右余白 25mm（推奨） ⑤フッター：ページ番号を挿入
変 更 後	④マージン：上下左右余白 20mm（推奨） ⑤ヘッダー：何も入れないことを推奨する。 ⑥フッター：ページ番号を挿入
変更理由	より読みやすい資料作成のため。

### 4 令和5年度以降の変更点

(1) 審査基準「審査項目－総合評価」及び「審査委員」について

…令和5年3月20日ホームページ掲載

変 更 前	・審査項目－総合評価 ※研究報告書と研究発表の内容をふまえ、研究の完成度や独創的、創意工夫などを総合的に評価に加点する ア 研究報告書（内容）に関する加点 イ 研究発表（説明）に対する加点 ・審査委員 開催地委員
変 更 後	・審査項目－総合評価 ※研究報告書と研究発表の内容をふまえ、研究の完成度や独創的、創意工夫などを総合的に評価にする ア 研究報告書（内容）に関する評価 イ 研究発表（説明）に対する評価 ・審査委員 開催地より選出する委員
変更理由	文言整理のため。

(2) 照明について

変 更 前	発表中の照明について、全体照明・部分照明（スポットライト）を使用。 照明指示や操作のため、発表者（生徒）の配置が必要。
変 更 後	部分照明（スポットライト）を使用せず、全体照明のみとする。 照明指示や操作のための発表者（生徒）の配置は必要ない。 ※ただし、会場や使用機材の都合上、全体照明のみでの進行が難しい場合は、従来どおり部分照明を使用する場合もある。
変更理由	・プロジェクターの性能向上のため。 ・大会運営のコンパクト化のため。

(3) 発表進行表の見直しについて

変 更 前	出場校は、発表者の位置、機材配置、使用照明等を詳細に記入した、「発表進行表」を大会事務局に提出する。
変 更 後	照明指示が不要となったため提出書類「発表進行表」を見直し、発表者の位置、機材配置等の記入に限定した「発表進行・配置表」の提出に変更。 ※ただし、会場や使用機材の都合上、従来どおり部分照明を使用する場合は、必要に応じて使用照明の情報を取得する。
変更理由	大会進行上の必要情報を見直したため。出場校の提出書類作成にかかる負担軽減のため。

## 5 令和6年度以降の変更点

(1) 審査基準「審査項目－研究報告書の完成度」について

…令和6年3月ホームページ掲載

変 更 前	・審査項目－研究報告書の完成度 ア 報告書内の文章表現や編集は適切であるか イ 資料提示に工夫がなされているか
変 更 後	・審査項目－研究報告書の完成度 <u>※全商協会調査・広報部にて審査し、審査委員長が代表して得点化する</u> ア 報告書内の文章表現や編集は適切であるか イ 資料提示に工夫がなされているか
変更理由	今まで明記していなかった事項について明記。

(2) 発表時間について

…令和6年3月ホームページ掲載

変 更 前	司会者による「発表を始めてください」の台詞終了時から発表者による「以上で発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。発表時間は10分以内とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点の合計から減点する。 ※以下省略
変 更 後	司会者による「発表を始めてください」の台詞終了時から発表者による「以上で発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。「以上で発表を終わります」の台詞以降は発声をしない。発表時間は10分以内とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点の合計から減点する。 ※以下省略
変更理由	今まで明記していなかった事項について明記。

## II 近年の主な変更点について（参考）

令和元年度 (埼玉大会) より	発表者の入場について、舞台袖からの入場から客席からの直接登壇に変更。 客席の機材担当者は挨拶のためによる登壇等はない。 直接登壇が難しい発表者（車椅子等）は、従来どおり舞台袖からの入場とする。
平成30年度 (静岡大会) より	・大会本番を1日開催に変更。 ・発表間の入れ替え時間、発表前後のパフォーマンスにかかる時間の短縮のため、発表者、機材担当者の入退場方法について変更。 ・発表時間の計測開始の合図者を発表者から司会者に変更。

以上

全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催  
各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取り扱いについて

全 国 商 業 高 等 学 校 長 協 会  
公益財団法人全国商業高等学校協会

全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

1 参加申込書等に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会要項に掲載されます。
- (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 各競技運営本部や所属校の報道・記録係を通じて公開されます。
- (2) 主催者が認めた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会要項掲載の個人情報とともに、全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会が作成する機関誌・ホームページ等に掲載し、公開されることがあります。
- (4) 優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の要項に掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 主催者が認めた報道機関等が撮影した動画や写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 主催者や主催者が認めた報道機関等が撮影した映像が中継または録画されることがあります。
- (3) 大会要項掲載の個人情報とともに、全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会が作成する機関誌・ホームページ等に掲載し、公開されることがあります。

4 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会としての対応

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 各種競技大会参加申込書等の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応します。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関する質問は、全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会事務局までご連絡ください。

連絡先・問合せ先  
全国商業高等学校長協会  
公益財団法人全国商業高等学校協会  
東京都新宿区大京町26  
電 話 03-3357-7911  
FAX 03-3341-1039  
担当 佐藤 あけみ・塚原 寛子

## 郵便振替払込取扱票の記入方法

参加料等のお支払方法は、**ゆうちょ銀行(郵便局)備え付け**の「払込取扱票」に以下のとおり記入し、**ゆうちょ銀行(郵便局)**の窓口又は**ATM**から振り込んでください。  
ゆうちょダイレクト等は使用しないでください。

- ◆ 「**青字**」の箇所は、記入例のまま御記入ください。
- ◆ 「**赤字**」の箇所は、記入例にしたがって、参加校の申込情報を御記入ください。

### 記入例

参加料・昼食代の合計金額を記入してください。

払 込 取 扱 票									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号		口座番号(右詰めで記入)		金 額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 0		4 7 2 6 8		金 額		4 7 2 6 8			
加入者名 ※ 公益財団法人全国商業高等学校協会 生徒商業研究発表大会				料 金		備 考			
参加料と昼食代の内訳を記入してください。 <b>参加料 5,000円 + 発表者数 名 × 1,000円</b> <b>昼食代 11/11(火) 1,050円 × 個</b> <b>昼食代 11/12(水) 1,050円 × 個</b>									
〒 000-0000				日 附 印					
おなまえ ※ 全商高校 0000				様					
(ご連絡先電話番号 000 - 000 - 0000)				日 附 印					
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。									

振替払込請求書兼受領証									
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。							
口座記号		口座番号(右詰めで記入)		金 額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 0		4 7 2 6 8		金 額		4 7 2 6 8			
加入者名 ※ (財)全国商業高等学校協会				料 金		備 考			
おなまえ ※ 全商高校 0000				様					
(消費税込み)				日 附 印					
料 金				円					
備 考				日 附 印					

この受領証は、大切に保管してください。

※振込手数料は、出場校でご負担ください。

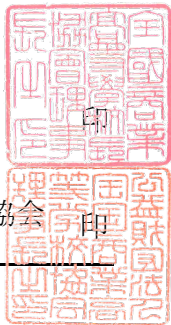
請求書

令和 7 年 月 日

様

全国商業高等学校長協会  
理事長 小川 孝

公益財団法人全国商業高等学校協会  
理事長 小川 孝



以下のとおり、請求いたします

金 円 (税込)

ただし、令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 参加費 として

内訳 全国商業高等学校長協会 (参加料の20%) 公益財団法人全国商業高等学校協会 (参加料の80%)  
登録番号 T4011105004856

税率	税込金額	円
10%	消費税額等	円

税率	税込金額	円
10%	消費税額等	円

※全国商業高等学校長協会の請求分(参加料の20%)はインボイス対象外です。

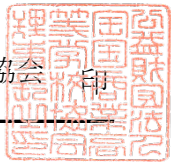
請求書

令和 7 年 月 日

様

公益財団法人全国商業高等学校協会  
理事長 小川 孝

登録番号 T4011105004856



以下のとおり、請求いたします

金 円 (税込)

ただし、令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 昼食代 として

内訳

税率	税込金額	円
軽8%	消費税額等	円

## 領收書

令和7年 月 日

様

全国商業高等学校長協会  
理事長 小川 孝

公益財団法人全国商業高等学校協会  
理事長 小川 孝

以下の金額を確かに領収いたしました

金

円(税込)

ただし、令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 参加費 として

内訳 全国商業高等学校長協会(参加料の20%) 公益財団法人全国商業高等学校協会(参加料の80%)  
登録番号 T4011105004856

税率	税込金額	円
10%	消費税額等	円

税率	税込金額	円
10%	消費税額等	円

※全国商業高等学校長協会の領収分(参加料の20%)はインボイス対象外です。

## 領收書

令和7年 月 日

様

公益財団法人全国商業高等学校協会  
理事長 小川 孝

登録番号 T4011105004856

以下の金額を確かに領収いたしました

金

円(税込)

ただし、令和7年度第33回全国高等学校生徒商業研究発表大会 昼食代 として

内訳

税率	税込金額	円
軽8%	消費税額等	円

税率	税込金額	円
軽8%	消費税額等	円